

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



諸口教室 それぞれの目標に向かって

高木 直也 (諸口教室)

秋も深まり、あつという間の冬到来。カイチには幼稚園から高校生まで通塾していますが皆それぞれの目標に向かって頑張っています。

そろばん生達は、10月の上級検定が終わり、競技大会、2月の上級検定にむけて一生懸命練習しています。去年まで4桁の計算ができなかった小学生が一年で15桁を読み上げて計算できるようになったり、計算を始めるまでに準備に時間がかかっていた生徒が素早く準備ができ、その日その日の自分の点数に一喜一憂している姿をみると、一年でずいぶん成長したんだと感心します。

小学生達は日々の小テスト、診断テストで切磋琢磨しています。昨年から通常授業に導入されたNHK英語も、ただ読んで発音練習するだけでなく、読み方をテキストにメモしたり、本文を自分で訳してみたり、英語を理解しようという工夫が随所に見られます。6年生はいよいよ中学生。授業では中学生になったら、と中学生達の生活について授業中に話すときみな引き締まった表情で話に聞き入ります。いい形で中学校生活に入れるように細かく指導していきます。

その一つ上の現中学一年生達は、夏の終わりから中だるみでしたが気合いを入れ直し、中学二年生に向けて頑張っています。

諸口教室では、社会科の小テスト結果を毎週

張り出し、中学校別にランキングを出しています。これをする事で、周りがどれほど勉強しているかを知るとともに、自分のクラスの立ち位置がわかります。ランキング表を作成していると「お、この子頑張っているな」とか「手抜いたな」など、生徒の科目に対する姿勢も見えてきます。問題は最初こそ簡単に作っていましたが、だんだんみんなが満点を取れるようになってきたので、そろそろ難易度を上げようと、テストを作成し実施している私も楽しんでいます。

社会科といえば、秋から各教室、順次導入しているPowerPoint授業。

社会科は私が作成を担当しています。映像授業には賛否がありますが、「映像がライブを超えられる」部分は必ずあるはずと、子供達が好きなユーチューブを見たり、すでにネット上で配信されている社会の動画をチェックし、「いかに面白く、いかにわかりやすいか」をテーマに、「カイチにしかない社会」をつくりあげることが目標に日々作成に励んでいます。この授業をきっかけに、社会に対する堅苦しいイメージを変えて自分で勉強してみようかなと思ってもらえたら幸いです。中学二年生はいよいよ先輩が引退し自分が最高学年になるんだという自覚がわいてきているようです。あつという間に自分達も先輩達と同じ受験生に

なるんだと、授業がない曜日に自主的に自習に来たり、弱点科目の作問をして練習するなど気合十分です。来年が楽しみです。

さて、ここから年度末に向けての主役は何といっても中学三年生でしょう。例年以上に、質問量が多い、そして細かい。志望校合格に向けて、時間を惜しんで毎日勉強に励んでいます。問題に対して周りが解けているか、自分が解けるのか、受験生は常に不安との戦いです。この時期の私達は新しい知識を教え込むことよりも、そういう不安といかに向き合っていくかをカウンセリングして精神的にケアすることのほうが多くなってきます。

今日はどんな授業をしようかということよりも、今日は誰にどんな声をかけようかと考えることに頭を使います。少しでも思い悩むことがあったら、どんどん先生達に相談してください。先生達は全力でサポートします。

諸口教室に来て早いもので五年が経ちます。カイチの生徒達は大阪で一番の生徒達だとずっと思っています。受験に全力向かっていく先輩にあこがれ後輩が成長し素晴らしい受験生へと翌年昇華する。その受験生にあこがれ次の学年へと受け継がれていく、その美しい流れを絶やさず、より多くの生徒の幸せのために全力で職員一同頑張っていきたいと思ひます。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育 トーキングキッズ ハロウィンレッスン

Do Your Best and Have Confidence!!

～ベストを尽くして自信をつけよう!!

マナロ 恭子 (トーキングキッズ担当)



今年もハロウィンレッスンへたくさんの子供達に参加いただき、ありがとうございました。今回のコンセプトは「いつもと違う自分になりきって格好良く英語を話そう!」ということで、お菓子をもらいに行くだけでなく、お菓子ポイント3箇所と、チャレンジポイント3箇所をグループで話し合っ



▲地図を頼りに、グループ内で話し合っそれぞれポイントを探ります。先生は見守るだけで何も教えません。



▲英字新聞から単語を探し出すチャレンジ!小さな文字で英語だらけの本物の英字新聞!将来読めるようになるといいですね。



▲お菓子ポイントでは英語で質問して当たらないければお菓子がもらえません。"Are you ghost?" "No, I'm not" "Are you witch?" "Yes, I am!!"



▲お菓子はもらったけど、「種類が全て違う!」「一人分足りないよ?!」どのように分けるかちゃんとグループで話し合っ決めていました。

た。低学年層が多く、全てのチャレンジに時間がかかってしまった教室もありましたが、皆グループでよく話し合っ協力して困難も乗り越えていました。

さて、どのようなチャレンジがあったかというところ...



▲かぼちゃの中にある英語の質問カードを取り、答えを英語で書いてカトリナ先生に持っていきます。分からない単語はグループで協力して辞書で調べ、意味を推測しながら答えを導き出します。英和辞典と和英辞典の両方を使いました。



▲始めは恥ずかしくて体が動かなかったけど、仲間と協力し合っ様々なチャレンジを乗り越えた後のダンスは、自信に満ち溢れていました。

今回のレッスンは子供達に楽しいパーティーを提供するだけではなく「冒険」を通して仲間と協力し、困難を乗り越えたり、リーダーになって仲間のために頑張ることで、協調性を身に付けながら英語を学ぶことがテーマになっていました。また、「英語を話せる自分ってかっこいい!」と思ってもらえるように英語をたくさん使う場面を用意しました。リーダー1人が頑張るのではなく、小さい子供達や、英語が初めてという子達も、1人1人が力を発揮し、グループ全体で協力してチャレンジを克服していく姿が見られました。実は、子供達主

導で野外のポイントを回るのとはとても心配でしたが、挑戦し、達成できた場面を見て、小さな成功体験が自信へとつながることが実感できました。

このように、ハロウィンレッスンははじめ、私達が提供する様々なイベントには、「We learn English through confidence.」(自信を通して英語を身に付ける)、という考えのもと、子供達が「Challenge」(挑戦)し、失敗を繰り返しながら「Overcome」(困難を乗り越え)、「Self-confidence」(自信)につなげていくトレーニングが組み込まれています。

レッスンの始めは小さかった声が、カトリナ先生の勢いでどんどん大きな声になり、Talking Kidsの生徒だけでなく、普段英語を学んでいない生徒達も同じように伸び伸びとレッスンを楽しんでいる姿を見て、自分の子供時代にこんな楽しく学べる機会があったらなんと、うらやましく思いました。

普段のレッスンではお会いする機会は少ないですが、これからもイベントで生徒達の成長を見守っていきたく思います。